

平成24年 愛知県の全産業死亡災害一覧

愛知労働局 労働基準部 安全課

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経験	事故 の型	起因物	災害状況
1	1月 10:00 ～10:30	清掃業	1 ～9	その他 のオペ レーター	50 代	8 年	切れ・こ すれ	その他 の一般 動力機 械	生ごみ処理機の上にあるホッパーから生ごみ処理機の中に落ち、生ごみ処理機内のスクリューププロペラに挟まれた。
2	1月 16:30 ～17:00	建設業	1 ～9	板金工	30 代	10 年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	雨樋等補修工事において、片付け作業をしていた被災者が、スレート屋根を踏み抜き、墜落し死亡した。
3	2月 2:00 ～2:30	製造業	30 ～49	工場長	70 代	50 年	はさま れ、巻 き込ま れ	その他 の一般 動力機 械	ミュール紡績機の修理中、紡績機にはさまれた。
4	2月 8:30 ～9:00	商業	1 ～9	営業・販 売関連 事務員	40 代	22 年	交通事 故(道 路)	乗用 車、バ ス、バ イク	自宅(愛知県知多市)から社用車を使用し、石川県へ向けて東海北陸道を走行中、保トンネル内においてハンドル操作を誤り対向車と正面衝突し死亡した。
5	3月 13:00 ～13:30	建設業	10 ～29	作業者・ 技能者	50 代	6 年	崩壊・ 倒壊	地山・ 岩石	防火水槽を道路下に設置する工事において、深さ4.2メートルに重機で掘った穴に土止めを設置しようとしていた。1人が穴の底に降りて作業していたところ側面の土砂が崩れ被災した。
6	3月 8:00 ～8:30	製造業	10 ～29	作業者・ 技能者	50 代	1月	転倒	フォー クリフ ト	派遣先の鋳造工場2階より鋳造屑を搬出するためフォークリフトでスロープをバック走行していたところ、ガードレールに激突し、フォークリフトと共に転倒し、ヘッドガードの下敷きになったもの。
7	3月 16:30 ～17:00	警備業	100～ 299	警備員	40 代	8 年	交通事 故(道 路)	トラッ ク	高速道路法面工事の交通整理作業を終え、路肩の車両に乗り込もうとしたときに、走行してきたトラックにはねられ、全身を強く打って死亡したもの。
8	3月 1:00 ～1:30	製造業	300～	技能工・ 多能工	30 代	16 年	飛来、 落下	射出成 型機	射出成型機の金型(重量約1.5トン)交換作業において、金型固定用のピンをセットしないまま作業を行っていたため、金型が成型機から脱落し、同作業員の上半身が金型の下敷きになった。
9	3月 8:30 ～9:00	製造業	1 ～9	作業者・ 技能者	40 代	8 年	はさま れ、巻 き込ま れ	その他 の金属 加工用 機械	加工物を自動投入するショットブラストの作業において、投入口前まで入ったところ、自動運転中の投入用バケットと、投入口のフレームに胸部を挟まれた。
10	4月 15:00 ～15:30	製造業	300～	作業者・ 技能者	20 代	3 年	はさま れ、巻 き込ま れ	その他 の動力 運搬機	船から鉱石を陸揚する機械であるアンローダの点検を行っていたところ、急に機械が動き出し、同機械に巻き込まれた。
11	4月 8:30 ～9:00	建設業	1 ～9	作業者	40 代	0 年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	テント倉庫の屋根修理工事で、被災者がテントシート上作業していたところ、シートを踏みぬき約5メートル下のコンクリート床に墜落した。
12	5月 7:30 ～8:00	建設業	30 ～49	作業者	50 代	14 年	飛来、 落下	移動式 クレー ン	移動式クレーンの主ジブに補助ジブを取付後、オペレーターが主ジブを起伏した際補助ジブが外れ、クレーン台車の上にいる被災者に落下した。
13	4月 11:30 ～12:00	建設業	1 ～9	作業者	50 代	9 年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	工場のスレート葺き屋根上で、ルーファン取替え工事作業していた被災者が、スレート屋根を踏みぬき、約6メートル下のコンクリート床に墜落した。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
14	5月 23:30 ～24:00	製造業	300～	鋳物工	50代	22年	墜落・ 転落	炉、窯	溶解炉に材料を投入する作業を行っていた被災者が溶解炉内に墜落した。
15	5月 15:00 ～15:30	運送業	30 ～49	運転者	50代	27年	はさま れ、巻 き込ま れ	フォーク リフト	トラックの荷台にあるフレコン(粉状の物を入れる袋)のベルトをフォークリフトのフォークに通すため、トラックの荷台より手を伸ばして、フォークリフトのレバーを操作したところ、フォークが下がりにすぎて、トラックのあおりに腹部を挟まれた。
16	5月 10:30 ～11:00	建設業	30 ～49	作業員	20代	2月	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	鋼板葺き工場屋根上に太陽電池パネルを設置する工事において、屋根上に荷揚げした材料を二人一組で運搬作業中、被災者が、誤って屋根上のアクリル製明り取り窓に乗ったため、明り取り窓が同人の体重により破損し、約7メートル下の工場床に墜落した。
17	5月 11:00 ～11:30	建設業	1 ～9	塗装工	20代	2年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	折板屋根上において屋根の塗装作業前の高圧水洗浄作業に従事していた被災者が、樹脂製の明り取りの天窗を踏み抜き、9.51メートル下の倉庫内アスファルト床面に墜落した。
18	5月 11:00 ～11:30	建設業	10 ～29	営業・販 売関連 事務員	40代	10年	墜落・ 転落	屋根、は り、も や、け た、合 掌	スレート葺き屋根の修繕工事において下請負人の作業員とともに屋根上に登り、雨漏りをする箇所を補修を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜いて約7.5メートル下の床面に墜落した。
19	5月 8:00 ～8:30	鉱業	1 ～9	運転者	50代	17年	墜落・ 転落	トラック	採石場内で傾斜地に駐車してあった貨物自動車の発動機を始動させたところ、惰性走行し、崖状の絶壁から自動車とともに約25メートル下まで墜落(滑落)した。
20	5月 2:00 ～2:30	運送業	50 ～99	運転者	30代	8月	交通事 故(道 路)	トラック	トラックでの配送を終えて国道1号線を東に走行中、交差点で左に曲がり旧1号線に入った直後、歩行者が出てきたため右に急ハンドルを切ったところ、トラックは松並木に衝突した。 被災直後は意識があったもののふくらはぎの動脈を切断しており、病院に搬送されるも失血死した。
21	6月 9:30 ～10:00	商業	10 ～29	フォーク リフト運 転者	60代	29年	はさま れ、巻 き込ま れ	フォーク リフト	事業場構内のLPガス充填場において、フォークリフトを使用して配管の塗装作業を行っていた被災者が、フォークリフトのマストとヘッドガードの間に挟まれ意識がない状態で発見された。病院に搬送され治療するも一週間後に死亡したものの。
22	7月 8:30 ～9:00	運送業	30 ～49	運転者	30代	4月	崩壊・ 倒壊	荷姿の 物	小麦原料納入工程中、コンテナ(小麦19トン)の払出ハッチ(30cm角)が開かなかつたため、コンテナ後部の観音扉左右をスリング紐で結び、右扉のみ少し開き原料納入を行おうとしたが、右扉を開けた瞬間にスリング紐が切れ、一気にホッパーに流れ落ち、被災者が小麦に埋まったもの。
23	7月 10:30 ～11:00	製造業	300～	作業員・ 技能者	20代	3月	感電	その他 の電気 設備	被災者が並べていた半製品が、既に通電作業を行っている半製品までコンベア上を転がってしまい、これを復旧しようとした被災者が通電部分に接触したものの。
24	7月 1:30 ～2:00	運送業	10 ～29	運転者	30代	10年	交通事 故(道 路)	トラック	被災者がトラックを運転し名阪国道下り線の走行車線を走行中、前方の普通車に追突して左前方の路肩に駐車した。被災者は停車中の普通車のところに行き確認し、一旦自社のトラックの右後方部付近まで戻った。そこへ後続のトレーラーが被災者及びトラックに追突し横転した。被災者は横転したトレーラーの下敷きとなったもの。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経 験	事 故 の 型	起 因 物	災害状況
25	7月 15:00 ～15:30	農業	1 ～9	造園工	20 代	3年	転倒	その他の建設 用機械	被災者がハンドガイド式草刈機(クローラ走行タイプ)に乗車操縦し、堤防道路から川側法面に行こうとしていたところ、草刈機が転倒して被災者とともに堤防下に転落し、その際に被災者が草刈機の下敷きになったもの。
26	7月 1:00 ～1:30	運送業	1 ～9	運転者	40 代	8月	交通事 故(道 路)	トラック	被災者がトレーラーを運転して三重県四日市市から富山県射水市へ向かう途中、国道8号線(石川県河北郡)を走行中に、対向車線を走行して来た4tトラックがセンターラインを超え正面衝突してきたもの。被災者は即死した。
27	8月 11:00 ～11:30	製造業	50 ～99	営業・販 売関連 事務員	70 代	52 年	墜落・ 転落	その他 の装 置、設 備	倉庫において、被災者は、フォークリフトの昇降機能を利用して、高さ3.8mの移動式のスチール棚の最上部に至り、注文品を見つけようとしたものが見つからず、再びフォークリフトで地上に引き返そうと同僚に声を掛けて合図した。合図を受けた同僚がフォークリフトの進入路を確保するためにスチール棚を移動させたところ、棚と棚との間に生じた開口部から被災者が転落したものの。
28	7月 12:00 ～12:30	建設業	1 ～9	電工	40 代	6月	高温・ 低温の 物との 接触	高温・ 低温環 境	道路の地下のマンホール内の電線等の点検作業において、被災者は、マンホール外での道路上作業を実施後、食事のため自動車を運転したところ脱輪をし、同乗者が異変に気付き、救急車を手配し病院に収容したが、翌日熱中症と認められる原因で死亡した。気温は36度、湿度は38%であった。
29	8月 14:00 ～14:30	建設業	1 ～9	塗装工	40 代	3年	墜落・ 転落	足場	個人宅にて、外壁塗装工事を行っていた被災者が、高さ約5メートルにある足場から道路上に墜落したものの。
30	8月 9:30 ～10:00	製造業	1 ～9	機械修 理工	30 代	20 年	墜落・ 転落	はしご 等	プレス工場内に設置された天井クレーン(定格荷重2.8t)の月例点検作業のため、出張した被災者がクレーンのランウェイ下部に移動はしごを掛けた。同はしごは伸縮機能を有し、この時のはしごの長さは6m30cmであったが、被災者が同はしごを上っていたところ、はしごから落下したものの。
31	8月 3:00 ～3:30	運送業	1 ～9	運転者	50 代	27 年	交通事 故(道 路)	トラック	群馬県安中市の国道18号線路上に於いて、被災者の運転する4tトラック(岐阜県内にて積載した荷を埼玉県へ運搬中)と相手方の運転する4tトラックが正面衝突し、被災者が頭部及び胸部を強く打ち死亡したものの。
32	8月 14:00 ～14:30	運送業	10 ～29	運転者	50 代	7年	崩壊・ 倒壊	荷姿の 物	被災者はトラックにコイル材(直径1.27m:重量約800Kg×4)を積載後、荷台上で荷の状態を確認しようとした際、積載したコイル材が倒れ、既に積載されたコイル材との間に挟まれたもの。
33	8月 11:00 ～11:30	製造業	30 ～49	作業 者・技 能者	30 代	1年	激突さ れ	産業用 ロボット	派遣労働者の被災者が単独で、工場のダイカスト自動ライン内の冷却水槽北側において、ロボットアームの先端で頭を上から押さえ込まれ、顔が冷却水槽の中に入った状態で発見され、意識不明の重体となっていたが、入院先の病院にて死亡したものの。
34	2月 6:00 ～6:30	建設業	10 ～29	管理者	20 代	6年	その他	起 因 物 なし	職場内で倒れていた被災者が発見され、入院先の病院にて死亡したものの。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年令	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
35	10月 13:00 ～13:30	製造業	300～	管理者	40代	24年	破裂	化学設備	フッ化水素液の入ったタンクからの液漏れがひどくなったと報告を受けた被災者が、現場でタンクの確認をしていたところ、タンクが破裂し、フッ化水素液を全身に浴びたもの。
36	10月 8:00 ～8:30	清掃業	1 ～9	作業員・ 技能者	30代	6年	はさま れ、巻 き込ま れ	コンベア	被災者が産業廃棄物中間処理施設であるリサイクルプラントを起動させる作業に従事していたとき、当該プラントの異常ランプが点灯しているのを代表者が発見し、プラント内を確認したところ、ベルトコンベアに挟まれている被災者を発見したものの。
37	6月 7:00 ～7:30	製造業	30 ～49	設備機 械工	30代	1年	崩壊・ 倒壊	ロール 機	圧延設備の中に作業員2名が入って、設備の一部をワイヤーでつなぎ、チェーンブロックで引っ張ったところ、ワイヤーをつないだ設備が固定されておらず、倒れてきて挟まれ、1名が死亡、1名が軽傷を負ったもの。
38	10月 9:00 ～9:30	商業	1 ～9	作業員・ 技能者	60代	12年	飛来、 落下	荷姿の 物	被災者は同僚とともに、フォークリフトの爪にチェーンを巻きつけ、解体中の自動車の車体前部分を持ち上げた。その後、被災者は、自動車の下部を確認していたところ、自動車が落下し、その自動車の下敷きになり死亡したものの。
39	11月 4:30 ～5:00	運送業	1 ～9	運転者	20代	5年	交通事 故(道 路)	トラック	静岡県内の国道で発生した交通事故。事故の発生現場は片側2車線の直線道路。赤信号で停止中のトラックに被災者が運転する大型トラックが追突したものの。
40	11月 10:00 ～10:30	建設業	1 ～9	作業員	60代	40年	はさま れ、巻 き込ま れ	トラック	建設工事現場において、荷降ろし後のトレーラー(30t)が、退場するために現場内の通路を50mほどバックし、方向を転換しようとしたところ、何らかの理由で通路にいた被災者を轢いたものの。
41	11月 1:30 ～2:00	製造業	50 ～99	作業員・ 技能者	50代	44年	墜落・ 転落	通路	化学工場において、配管漏えい部分の調査確認に従事した2名のうち、1名がホース固定作業等を行っていたところ、近傍で待機していた1名が行方不明となり、作業箇所下方約10mの地面に転落しているのが発見されたもの
42	12月 23:00 ～23:30	接客娯楽業	10 ～29	作業員	20代	1年	はさま れ、巻 き込ま れ	エレ ベータ、 リフト	被災者は1階で小型昇降機の搬器の扉を開けて搬器内に洗剤を吹きかけ、上半身を搬器内に入れて雑巾で搬器の床面を拭いていたところ、小型昇降機の扉が開いたまま搬器が上昇し、搬器の床と積み下ろし口上部のわくとの間に肩と胸を挟まれて死亡したものの。
43	11月 15:30 ～16:00	製造業	30 ～49	運転者	60代	5年	はさま れ、巻 き込ま れ	トラック	被災者は工場敷地内を歩いていたところ、別の労働者が修理のためバックで移動させていたトラックに轢かれたもの。
44	12月 13:00 ～13:30	製造業	1 ～9	作業員・ 技能者	50代	1年	はさま れ、巻 き込ま れ	その他 の動力 運搬機	客先でテーブルリフターで油漏れがあったので、テーブルを上げて、落下防止の角材を設置し、油を抜いて、油圧シリンダーのパッキンを取り換えた。起動確認のため、角材をはずしてテーブルを自重で下げようとし、パールを使用して、被災者が角材を取り除いたところ、テーブルが下降し、下敷きになった。

No.	発生月 発生時間	業種	労働者数	被災者 職名	年齢	経 験	事 故 の 型	起因物	災害状況
45	12月 9:30 ～10:00	製造業	10 ～29	作業員・ 技能者	50 代	18 年	墜落・ 転落	建 築 物、 構 築 物	工場内で大掃除中、被災者は竹竿の先にエアホースを結びつけ、そのエアで天井クレーンのホイスト部分の埃を払う作業等をしていた際、乗っていた高さ約2mの作業台の登り口付近から墜落し、更に、その下に設置されていた深さ1.5mのタンクの底まで墜落したものの。
46	12月 16:00 ～16:30	製造業	10 ～29	作業員	40 代	10 年	崩壊・ 倒壊	そ の 他 の 材 料	工場内において、コンクリート製品(L型擁壁、約460kg)を天井クレーンを使用し、反転機に載せ、吊り具を外し、クレーンを横行させた後、反転機を作動させ、反転させようとしたところ、当該製品が倒れ、当該製品と反転機の間にはさまれたもの。
47	3月 0:30 ～1:00	金融・広告業	1 ～9	一般社 員	30 代	10 年	交通事 故(道 路)	乗 用 車	高速道路のインター出口をUターンし、下り車線を逆走し、トラック2台と衝突したものの。
48	2月 12:00 ～12:30	製造業	30 ～49	管理 者	40 代	4年	その他	起 因 物 な し	出社してこないで、社員が自宅を訪問したところ、自宅で倒れているところを発見された。
49	5月 0:00 ～0:30	商業	1 ～9	管理 者	30 代	13 年	その他	起 因 物 な し	飲食店駐車場において車内で被災労働者が死亡しているのを警備会社社員が発見したものの。